

2015 年度 日本線虫学会 第 23 回大会プログラム

9月2日(水)

「一般講演(口頭発表)」13:00-16:00

座長: 吉賀豊司

- 13:00-13:15 O-01 ○勝田あかね¹・豊田剛己¹・Yu Yu Min²・The Thiri Maung² (¹東京農工大・²イエジン農業大) ミャンマー中部に分布する植物寄生性線虫の同定と定量
- 13:15-13:30 O-02 大桃沙織¹・○岩堀英晶²・佐藤武史¹ (¹長岡技術科学大学・²龍谷大学) DNA シークエンスを用いた有機圃場と慣行圃場の線虫相比較
- 13:30-13:45 O-03 ○岡田浩明(農環研) 有機・自然農法のリンゴ園の土壤動物相の特徴
- 13:45-14:00 O-04 ○北上雄大・松田陽介(三重大院生資) 海岸クロマツ林のリター添加が土壤線虫群集に与える影響

座長: 関本茂行

- 14:00-14:15 O-05 ○荒城雅昭¹・伊藤崇浩²・小松崎将一² (¹農環研・²茨大農) 不耕起栽培圃場の土壤線虫はなぜ多様かー土壤表面の粗腐植層の重要性
- 14:15-14:30 O-06 ○成沢君¹・豊田剛己¹・山下一夫² (¹東京農工大学・²青森産技セ野菜) Real-time PCR 法を用いたニンニク腐敗の病原線虫イモグサレセンチュウの診断技術の確立
- 14:30-14:45 O-07 ○堀越義広・安部豊・久井潤也(横浜植防) 輸入植物検疫における分子生物学的手法を用いた重要線虫の発見事例

(休憩 14:45-15:00)

座長: 田中龍聖

- 15:00-15:15 O-08 ○Sato, K.^{1,2}・Yoshiga, T.^{1,2}・Hasegawa, K.³ (¹Saga Univ. ・²Kagoshima Univ. ・³Chubu Univ.) Phenotypic analysis in attenuated virulence mutant of *Photorhabdus luminescens*
- 15:15-15:30 O-09 ○奥村悦子^{1,2}・竹内祐子¹・杉拓磨² (¹京大院農・²京大 iCeMS) *C. elegans* 誘引物質に対する *C. japonica* の誘引反応
- 15:30-15:45 O-10 ○Vicente, C.S.L.^{1,2}・Nascimento, F.X.²・Ikuyo, Y.¹・Peter, C.³・Mota, M.²・Hasegawa, K.¹ (¹Chubu Univ. ・²Univ. Évora ・³James Hutton Inst.) Genomic analysis of nematode-bacteria interaction in Pine Wilt Disease
- 15:45-16:00 O-11 Mehmet Dayi¹・田中龍聖¹・神崎菜摘²・○菊地泰生¹ (¹宮崎大学・²森林総合研究所) Genome comparisons of five *Bursaphelenchus* species

「総会」16:00-17:00

「懇親会」18:00-20:00

9月3日(木)

「一般講演(口頭発表)」10:00-12:00

座長: 豊田剛己

- 10:00-10:15 Q-12 ○立石靖¹・上杉謙太¹・岩堀英晶^{1,2} (¹農研機構・²現: 龍谷大学) エンバク新品種「スナイパー」の線虫寄主適合性
- 10:15-10:30 Q-13 ○東岱孝司(道総研十勝農試) 北海道内のダイズシストセンチュウ個体群に対するアズキ遺伝資源の抵抗性
- 10:30-10:45 Q-14 ○奈良部孝(北海道農研) ジャガイモシストセンチュウの圃場内根絶を確認するための手法の検討
- 10:45-11:00 Q-15 ○串田篤彦^{1,2}・近藤則夫² (¹北農研・²北海道大学) 線虫を数えずにその個体数を推定する簡易手法

座長: 植松繁

- 11:00-11:15 Q-16 ○Ozawa, S.¹・Rina Sriwati.^{1,2}・Morffe, J.³・Vicente, C.S.L.¹・Shinya, R.⁴・Hasegawa, K.¹ (¹Chubu Univ.・²Syiah Kuala Univ.・³Inst. Ecol. Sistem.・⁴Caltech) Morphological, molecular and developmental characterization of the two thelastomatid nematodes parasite in *Periplaneta americana*
- 11:15-11:30 Q-17 ○浴野泰甫・竹内祐子(京大農) 透過型電子顕微鏡を用いたマツノザイセンチュウ角皮構造の観察
- 11:30-11:45 Q-18 ○Ryoji Shinya・Paul W Sternberg (HHMI and California Institute of Technology) Odor-mediated mate choice in a hermaphroditic and gonochoristic *Bursaphelenchus* species
- 11:45-12:00 Q-19 ○相川拓也¹・中村克典¹・市原優²・前原紀敏¹・水田展洋³ (¹森林総研東北・²森林総研関西・³宮城県) 東日本大震災の津波被害により枯死したマツから脱出したマツノマダラカミキリの保持マツノザイセンチュウ数

(昼食休憩 12:00-13:30)

「線虫学シンポジウム: 異分野を知り線虫学の魅力を知る」(13:30-16:00)

オーガナイザー: 長谷川浩一 & 新屋良治

- 13:30-13:40 長谷川浩一(線虫学会 J4s) はじめに
- 13:40-14:20 S-01 市橋泰範(理化学研究所) 植物の進化発生学における比較トランスクリプトーム解析
- 14:20-15:00 S-02 西本寛(愛知大) 放射性炭素年代測定でわかるコトわからないコト

15:00-15:40 S-03 浴俊彦 (豊橋技科大) 線虫 *C. elegans* の RNA 干渉機構とヘリカーゼファミリー

15:40-15:50 新屋良治 (線虫学会 J4s) 総括

「ポスターセッション」(16:00-17:00)

16:00-16:25 P-01 から P-07 コアタイム

16:25-16:50 P-08 から P-14 コアタイム

16:50-17:00 自由時間

- P-01 ○秋庭満輝・神崎菜摘 (森林総研) ヒゲナガカミキリおよびマツノマダラカミキリからの *Bursaphelenchus firmae* および *Diplogasteroides andrassyi* の分離
- P-02 ○Ikuyo, Y.¹・Rina Sriwati^{1,2}・Ozawa, S.¹・Sato, K.^{3,4}・Hasegawa, K.¹ (¹Chubu Univ.・²Syiah Kuala Univ.・³Saga Univ.・⁴Kagoshima Univ.) Plant pathogens *Ditylenchus dipsaci*, *Fusarium avenaceum* and *Alternaria* sp., isolated from dieback of *Phlox subulata*
- P-03 ○梅崎悠帆・松木耀・吉賀豊司 (佐賀大学) ビーカーを用いた簡易トマト水耕栽培によって得られたサツマイモネコブセンチュウ 2 期幼虫の感染性
- P-04 ○小野雅弥・吉賀豊司 (佐賀大学) *Caenorhabditis elegans* の昆虫体内で発育
- P-05 ○中江和紀・吉賀豊司 (佐賀大学) PCR によるニセフクロセンチュウの生殖様式系統の簡易識別法
- P-06 ○原口俊輔・吉賀豊司 (佐賀大学) 9 種ニンニク病原糸状菌上におけるニセネグサレセンチュウおよびイモグサレセンチュウの増殖
- P-07 ○吉賀豊司 (佐賀大学) ベニツチカメムシ幼虫からの *Caenorhabditis japonica* の離脱
- P-08 藏之内利和¹・○百田洋二² (¹作物研・²元中央農研) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性検定圃場における SP レースの混在
- P-09 ○鈴木智範・山野秀真 (大分農林水研農業) 大分県におけるナンヨウネコブセンチュウの発生
- P-10 ○田中克^{1,2}・神崎菜摘³・相川拓也⁴・田中龍聖^{2,5}・竹内祐子⁶・福田健二¹ (¹東京大学・²学振・³森林総研・⁴森林総研東北・⁵宮崎大学・⁶京都大学) マツノザイセンチュウ T4 系統及びその純系株における分散型 III 期関連形質の調査
- P-11 ○田淵宏朗¹・小林晃¹・門田有希²・謝花治³・翁長彰子³・岸本和樹²・田原誠²・岡田吉弘¹ (¹九沖農研・²岡山大学・³沖縄農研) サツマイモ品種「ジェイレッド」におけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性の遺伝解析
- P-12 ○Hamaguchi, T.¹・Sato, K.^{2,3}・Yamashita, Y.¹・Ozawa, S.¹・Yoshiga, T.^{2,3}・Hasegawa, K.¹ (¹Chubu Univ.・²Saga Univ.・³Kagoshima Univ.) Insecticidal activity of the entomopathogenic nematode *Heterorhabditis bacteriophora* against three *Periplaneta* cockroaches

P-13 ○保谷剛志¹・田中克^{1,2,3}・浴野泰甫¹・竹内祐子¹ (¹京大院農・²東大院農・³学振) マツノザイセンチュウ組換え近交系の孵化率の増殖力への寄与

P-14 ○東岱孝司(道総研十勝農試) 北海道内のダイズシストセンチュウ個体群に対するアズキ遺伝資源の抵抗性(口頭発表と同じ)

夜のグレーター・ナゴヤ(自由行動)(18:00-)

9月4日(金)

「一般講演(口頭発表)」10:00-12:15

座長:奥村悦子

10:00-10:15 Q-20 ○田中龍聖¹・神崎菜摘²・菊地泰生¹ (¹宮崎大学・²森林総合研究所) オオバイヌビワから検出された *Caenorhabditis* 属線虫

10:15-10:30 Q-21 ○神崎菜摘(森林総研) *Neodiplogaster acaloleptae* の eury stomatous form に関して

10:30-10:45 Q-22 ○小坂肇¹・神崎菜摘² (¹森林総研九州・²森林総研) ヤツバキクイムシ及びカラマツヤツバキクイムシから検出された *Contortylenchus* 属

10:45-11:00 Q-23 ○植松繁^{1,2}・栗原孝行²・八尾充睦¹・藪哲男³・古賀博則² (¹石川農林総研・²石川県立大・³石川県農林水産部) レンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* のレンコン若芽組織内への侵入初期過程の電顕観察

座長:佐藤一輝

11:00-11:15 Q-24 ○高木素紀・久恒和雅・鹿島哲郎(茨城農総セ園研) レンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* の耐乾燥性と乾燥を利用した防除の可能性について

11:15-11:30 Q-25 ○王晓曼¹・豊田剛己¹・加渡英司²・斉藤仁³・伊藤喜誠⁴・高田敦之⁴ (¹東京農工大BASE・²君津市JA・³東松山農林振興センター・⁴神奈川県農業技術センター) 首都圏のエダマメ圃場におけるダイズシストセンチュウの発生状況および緑肥による防除

11:30-11:45 Q-26 ○武田藍・加藤正広(千葉農林総研) 生育中薬剤灌注処理による輸出用植木のオオハリセンチュウ密度低減対策

11:45-12:00 Q-27 山下一夫・青山理絵・対馬由記子(青森産技セ野菜) 青森県で栽培されるヤマノイモに発生するセンチュウ害

12:00-12:15 Q-28 ○Gaspard J. T.・Yamane, I. (Nematenken Co. Ltd.) *Rotylenchulus reniformis* the dominant plant-parasitic nematode in *Meloidogyne incognita* infested Kyushu sweet potato fields